



©Schirmer/Berliner Philharmoniker

ベルリン・フィル デジタル・コンサートホール体験記

<http://www.digitalconcerthall.com/>

伊藤 陽子

今、午前2時50分です。ベルリン・フィルハーモニーの定期演奏会がまもなく始まります。すでに客席は埋まりはじめ、演奏会直前の華やかなざわめきが伝わってきます。9月18日未明、私はベルリンに出かけることなく、こうして埼玉の自宅コンピューター前に陣取り、ベルリン時間17日午後8時に始まるライブコンサートを待っているという状況です。ライブですからベルリンの今も埼玉の今も同じ今。それに、何が起ころかわかりません。ワクワクします。

γ γ γ

楽しいことは人に伝えたくになります。この楽しさを皆さんに伝えたい。2009年に始まったので、すでにご存知の方も多いかと思いますが、このデジタル・コンサートホールは、ベルリン・フィルのコンサートをライブでインターネット配信するというサービスです。ドイツ語、英語、日本語サイトがあります。料金設定は48時間(9.9€)、30日(29€)、12ヶ月(149€)となっていて、学生や教員は30%の割引ヴァウチャーが発行されます。最近、月額14.9€のコースができました(今のところドイツ語と英語サイトにしか表示されていません)。ただしこのコースは割引が効きません。それと自動更新なので、退会するときは解約ボタンを押す必要があります。

私は、まず試しにシーズン開始にあわせて、48時間チケットを購入しました。歴史的円高に加え、家族に教員がいるので申請してヴァウチャーを利用したら、なんと750円でした。48時間という短いようですが、オープニングのライブ公演以外に、アーカイブの曲もかなりの数聴くことができました。アーカイブには、2008年～2010年度に開かれた118のコンサートと前首席指揮者クラウディオ・アバドのコンサートがいくつか集録されています。聴いてみたい演奏と楽曲が目白押しです。私はピアノ好きなので、ピアノ・コンチェルトを選んで聴いてみました。聴いてみると、ソリストもさることながら、「大編成の室内楽団」と言われるベルリン・フィルの凄さがあらためてわかり、もっと視聴してみたくになりました。それで、今晚演奏されるマーラーの交響曲第8番を視聴しようと、1週間前に14.9€コースで再入会したわけです。英語とドイツ語の解説によれば、この曲、ベルリン・フィルでは1912年以来わずか6回しか演奏されていないそうです。

このサイトは、無料サービスも充実しています。各コンサートのハイライトや、ベルリン・フィル関係のドキュメンタリーがいつでも見られます。もう一つすばらしいのが、指揮者、ソリスト、時に作曲家へのインタビューです。ステージや楽屋で楽団員がインタビューしているせいか、皆さん、演奏しているときは別のリラックスした表情を見せ、一見の価値あります。残念ながら日本語字幕はありませんが、たまに英語かドイツ語の字幕が付いています。

γ γ γ

さて、まず無伴奏合唱曲2曲が演奏され、一息入れた後、再びざわめきが消えました。いよいよベルリン・フィル楽団員の登場を待つ瞬間です。現われました。あ、今夜のコンサートマスターは期待どおり、樫本大進です。フルート主席のエマニュエル・パユの顔も見えます。はやくも「ブラボー」(筆者)。チューニングが終わり、サー・サイモン・ラトルが登場しました。「ブラボー、ブラボー、ブラボー」(筆者)。

註：アーカイブ配信では送信容量が三段階になっています。我が家は集合住宅用の光ファイバー回線ですが、最大送信容量の設定にすると画像の受信容量が追いつかず、下から2番目のレベルにしないと弦楽器奏者のビブラートが見えませんでした。音のほうは最大送信容量が320kbpsで、それ以下は192kbpsになっており、こちらは受信に問題ありませんでした。ライブ配信では画像は5段階で切り替え可能ですが、音はすべて192kbpsです。

*上の画像は Berlin Phil Media の許可を得て掲載しました。

● いとうようこ ニューヨーク・フィルも、プログラマーや文書、スコア、音源など膨大な資料をウェブで公開し始めました。歴代指揮者の書き込みが残るスコアをまるごと見られるのは、驚きです。こちらは無料。寄付を呼びかけています。